

水と土の芸術祭2018基本計画の概要

1 基本理念

私たちはどこから来て、どこへ行くのか

～ 新潟の水と土から、過去と現在(いま)を見つめ、未来を考える ～

2 目的

- 「水と土の文化創造都市」の推進
 - ・シビックプライドの醸成と市民力の更なる発展
 - ・新潟らしい魅力の発信(食・農・おどり・海・川・潟・砂丘・港 など)
 - ・産業や教育・福祉など他分野への創造性の浸透・波及
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた新潟市の文化プログラムの主要事業として、世界へ新潟市をアピールするとともに、北東アジア文化交流拠点都市につなげる。
- 新潟開港 150 周年の主要事業に位置付け、「みなとまち」としての魅力向上につなげる。

3 主催

水と土の芸術祭 2018 実行委員会

- 実行委員長 篠田 昭 (新潟市長)
- 副実行委員長 平岩 史行 (水と土の芸術祭市民サポーターズ代表)
- 今井 長司 (新潟県農業協同組合中央会会長)
- 福田 勝之 (新潟商工会議所会頭)
- 参 与 大熊 孝 (新潟大学名誉教授/潟環境研究所所長)
- アドバイザー 小川 弘幸 (イベントプロデューサー/文化現場代表)
- 総合ディレクター 谷 新 (美術評論家)
- アート・ディレクター 塩田 純一 (新潟市美術館館長)
- 市民プロジェクト・ディレクター/こどもプロジェクト・ディレクター 藤 浩志 (秋田公立美術大学副学長/美術家)

4 会期

2018 年(平成 30 年)7 月 14 日(土)～10 月 8 日(月・祝) 計 87 日間

5 会場

市内全域 ※新潟市の魅力である「潟」「砂丘」「港」などを活用した会場とする。

- メイン会場:「万代島旧水揚場跡地」、サテライト会場:「旧二葉中学校」
- 市民プロジェクトおよびアートプロジェクトの一部は、市内全域で展開する。

6 事業

- (1) 市民プロジェクト (市民自らが企画・運営するイベントやプロジェクト等)
- (2) こどもプロジェクト (次代を担うこども達の創造性を育む事業)
- (3) アートプロジェクト (アーティスト等を招へいし、深い地域性と高い芸術性を持つ作品を制作・展示)
- (4) シンポジウム (芸術祭の取り組みと連動したトークイベント等)
- (5) にいがた JIMAN (「食」や「農」・「おどり」など、新潟市の誇る豊かな文化を広く PR)

7 予算

270,000,000 円